# **People Tree**

【プレスリリース】 2007 年 8 月 30 日

## 『Wear Organic — オーガニックを着よう!』キャンペーン始動 9月7日、「オーガニック・コットン宣言」の発表 および シンポジウムを開催



9月より1年間、ピープル・ツリーは、オーガニック・コットン(OC)の認知を高め普及させるために、OCを取り扱う企業や団体と合同で『Wear Organic - オーガニックを着よう! 『キャンペーンを展開します。

ピュアなイメージのコットンですが、実際の栽培には、農薬や化学肥料の多用によって環境が汚染されていたり、農民が健康を害したり農薬を買うための借金苦による自殺をしたりと、その実態は「ピュア」からは大きくかけ離れたものです。

農薬や化学肥料を使用しない OC は、着心地がいいだけでなく、作る人にやさしく、環境にも負荷をかけません。しかしながら、市場ではまだ十分に普及しておらず、全世界のコットン流通量に OC が占める割合は約 0.1%にすぎません (Organic Exchange, 2006)。

このキャンペーンでは、OC の社会的な意義を日本の消費者に広く知ってもらい、より多くの方に着ていただくことで、コットン市場での OC のシェアを高めることを目指します。それによって、農薬が栽培農家に与える健康被害や、環境への悪影響を減らし、生産者と土地の健康を守ることに努めます。9 月からの 1 年間を通し、啓発ツールの配布や店頭でのキャンペーン、ウェブサイト、イベントなどを通じて、広くアピールを行うとともに、他団体・個人へキャンペーン参加を呼びかけます。

9月7日(金)はキャンペーンのキックオフ・イベントとして、メディアの皆様を対象にしたブリーフィングと、一般向けのシンポジウムを開催します。メディア・ブリーフィングでは、参加団体の連名による「オーガニック・コットン宣言」(添付参照)を発表し、本キャンペーンの意義や、発足の背景、目標について提示します。

## 9月7日(金) メディアブリーフィングとオーガニック・コットン・シンポジウムのお知らせ

インドより OC 生産者組合の代表を招き、本キャンペーンの指針と OC の生産背景を説明するため、メディアブリーフィングとシンポジウムを開催します。このイベントは、社会企業家を支援する(特活)ソーシャル・イノベーション・ジャパンが 9 月8・9 日に開催する「ソーシャル・アントレプレナー・ギャザリング」の関連イベントとして実施するものです。

- 日時: 2007年9月7日(金)17:30-20:15
- 場所: 六本木ヒルズ内 アカデミーヒルズ 40 (地図: <a href="http://www.academyhills.com/information/map/">http://www.academyhills.com/information/map/</a>)
- シンポジウムスピーカー(各スピーカーのプロフィールは添付資料をご参照ください)
  - ハシュムク・パテル アグロセル(オーガニック・コットン生産者組合)
  - 渡邊智恵子 (株)アバンティ 代表取締役社長/NPO 日本オーガニック・コットン協会 副理事長
  - 篠健司 パタゴニア日本支社 環境担当
  - サフィア・ミニー ピープル・ツリー/グローバル・ヴィレッジ 代表

#### 1)メディアブリーフィング

【時間】17:30-18:00

【会場】六本木ヒルズ内 アカデミーヒルズ40(40F) キャラントC1

【内容】「オーガニック・コットン宣言」の発表、キャンペーン内容のブリーフィング、参加各社によるOC商品の紹介

②オーガニック・コットン・シンポジウム

【時間】18:30-20:15

【会場】六本木ヒルズ内 アカデミーヒルズ40(40F) キャラントD

【内容】パテル氏によるオーガニック・コットン栽培現場からの報告、各スピーカーからOCへの取り組みの発表

【主催】ピープル・ツリー/グローバル・ヴィレッジ

【共催】(特活)ソーシャル・イノベーション・ジャパン

【協力】(株)アバンティ、パタゴニア日本支社

本プレスリリースや取材の申し込みに関するお問い合わせは: フェアトレードカンパニー株式会社 (担当:小野、高井)

電話:03-5731-6671、ファックス:03-5731-6677、メール:pr@peopletree.co.jp

#### 【添付資料 1】

## オーガニック・コットン宣言 Joint Organic Cotton Declaration

私たちは、人と環境を守ることをポリシーとする会社です。

We believe in the value of protecting people and the environment. These values inform our policies.

私たちは、コットン栽培において使われる農薬や化学肥料が環境や農民に被害を与え、サステナビリティを損ねていることを知っています。

そして、糸や生地の加工、染色、縫製などの過程においても、化学薬品の使用により 環境や人体への 負荷をかけていることを知っています。

We recognize that chemical pesticides and fertilisers used in conventional cotton farming are damaging to the environment, to farmers and to their communities, and that they undermine sustainability.

We also recognize that the use of chemicals in the production (yarn, fabric, finishing, dyeing and sewing) damages the environment and people's health.

In light of this we, the undersigned, commit to the following:

- 1. 私たちは、そのような化学物質を使用しないオーガニック・コットンの栽培を推進します
  To promote Organic Cotton farming which prohibits the use of chemical pesticides and fertilisers.
- 2. 私たちは、製品の製造過程においても環境や人体への負荷を極力おさえた方法を推進します。 For every stage of production to select processes which aim to prevent negative impacts on the environment and producers' health.
- 3. 私たちは、オーガニック・コットン栽培、製造が広まるよう、オーガニック・コットンのよさを最大限に生かした製品開発、製品づくりに努めます。
  - We intend to increase Organic Cotton farming and production. We are therefore committed to developing, producing and promoting products which make the best use of Organic Cotton.
- 4. 私たちは、オーガニック・コットン農家や生産者の権利と環境正義を守り、彼らが生産活動を継続し広げていけるよう、支援と啓発を行います。
  - To support farmers and producers, campaign for their rights and support their development and to promote organic agriculture and environmental justice.
- 5. 私たちは、オーガニック・コットンを広めるための支援を通し、地球環境を守り、環境と人々が共存共栄できるより良い関係を取り戻すことを目指します。
  - We believe that by supporting the development of Organic Cotton farming we will be contributing to a more balanced relationship between people, natural habitats, and the environment.

上記にのっとり、2010年までにオーガニック・コットンを現在の使用量の2倍にすることを目標に活動します。 私たちは、時代を超えて日常に馴れ親しまれてきたコットンを、人と環境の健康を損ねることのない継続可能 な方法を選択して生産、製造し、今、そしてこれからも多くの人に届けていきます。

In compliance with the above statements, we commit to doubling the quantity of Organic Cotton, we currently buy, by 2010.

To reduce health and environmental concerns we choose to farm and produce cotton in a sustainable way. Through sustainable farming practices we also hope to ensure the continual availability of cotton fabrics for generations to come, so that they may have the opportunity to enjoy it as people have done throughout the ages.

#### 【添付資料 2】

## オーガニック・コットン シンポジウム スピーカー紹介



ハシュムク・パテル アグロセル(オーガニック・コットン生産者組合)ディレクター

インド出身。大学卒業後より、数多くの農村開発プログラムに関わる。1988年より「アグロセル」に て、社会的に立場の弱い小規模農家の支援を目的に、オーガニック・コットン(OC)の栽培に携わ る。以来、この分野のパイオニアとして、インド全域 12 の地域で 2 万人の OC 生産者をサポートす る傍ら、フェアトレードの普及活動も行う。「アグロセル」では、OC 生産者個人を支援するだけでなく、 学校の水道設備の建設、女性が収入を得るためのプログラムも行っている。

\* 来日中(9/4~7)、インタビューの設定が可能です。ピープル・ツリー(03-5731-6671、担当:小野・ 高井)までお問い合わせください。



## サフィア・ミニー ピープル・ツリー/グローバル・ヴィレッジ 代表

イギリス出身。90年に来日。91年、環境問題と貧困問題についての情報発信を目的にNGO「グロー バル・ヴィレッジ」を日本で創設。93年からフェアトレード商品の輸入を開始し、95年にフェアトレー ド事業部門を法人化して「フェアトレードカンパニー(株)」を設立(現在、ブランド名は「ピープル・ツ リー I)。2001 年にはロンドンに「People Tree Ltd. Iを設立。日本とイギリスを往復して業務の指揮を とりつつ、世界各地の生産者を訪れて商品開発や地域発展プロジェクトを支援する多忙な日々を 送る。2004年、スイスの「シュワブ財団」により、「世界で最も傑出した社会起業家」のひとりに選出 される。



## 渡邊智恵子 (株)アバンティ 代表取締役社長 /

## NPO 日本オーガニックコットン協会 副理事長

北海道出身。(株)タスコジャパンを経て1985年、(株)アバンティを設立。1993年には米国現地 法人 Katan House Japan Inc. を設立し、直接原綿の買い付けを始める。同年設立の日本テキサ スオーガニックコットン協会は、2000年にNPO法人日本オーガニックコットン協会 (http://www.joca.gr.jp/)に昇格した。以来オーガニックコットンの普及啓蒙、グローバルスタンダー ドの確立などのために国内外で積極的に活動を行っている。2005年に国際オーガニック繊維品会 議(INTERCOT)でオーガニックコットン繊維賞(「Retail/Trade」部門)を受賞。

#### パタゴニア日本支社 環境担当 篠健司

米アウトドア・ブランド、パタゴニア日本支社・環境担当。1988年同社入社。直営店舗マネージャー、物流部門マネー ジャー、2年間の他社勤務などを経て現職。独特の環境経営で知られるパタゴニアの環境プログラム全般を担当。ア ウトドア業界の自然環境保護基金の理事も務める。 www.patagonia.com

#### ■ ピープル・ツリーについて www.peopletree.co.jp ■

ピープル・ツリーは、環境と共存できる公正な貿易<フェアトレード>を行う会社「フェアトレードカンパニー」のブランド名です。 ピープル・ツリーはアジア、アフリカ、南米の20ヶ国、60団体が手作りで生産した、自然素材を活かした衣料品やアクセサリー、 食品、雑貨などを扱っています。ピープル・ツリーは、IFAT(国際フェアトレード連盟・www.ifat.org)の認証を受けており、公正 TRADE な価格の支払いやデザイン・技術研修の支援、継続的な注文を通じて、環境を害さない持続可能な生産を支えています。 1996年よりオーガニック・コットンの製品づくりに関わり、現在では取り扱う衣料品の50%以上をオーガニック・コットンで生産し ています。2007年より、バングラデシュでオーガニック・コットンを栽培し、製品化を目指すプロジェクトを開始しました。



## ■ アバンティについて www.avantijapan.co.jp■

(株)アバンティは1991年にアメリカのオーガニックコットンの生地を輸入した事から始まり、以降原料から製品まで一貫してオーガ ニックでの供給体勢を確立し、今日まで日本のコットンの市場開拓と啓蒙普及をし続けてきました。オーガニックコットンの栽培から 最終製品に至るまで、NPO法人日本オーガニックコットン協会の厳しい基準に沿って、素材から製品の仕上げにかかわるすべての 顔が見える物作りを行っています。オーガニックコットンの提供を通し、人の心と身体、そして地球にやさしいライフスタイルを提案。 その活動により、健康で美しい地球、優れた日本の風土、伝統を継承し、次世代の子供たちに継承することを目指します。

## ■ソーシャル・アントレプレナー・ギャザリングについて www.socialinnovationjapan.org

社会的企業家によるソーシャル・ビジネスを支援する組織、ソーシャル・イノベーション・ジャパンによる社会的企業の全国大会。 2005年より毎年、企業、NPO/NGO、政府、研究機関、メディア等多様なセクターから毎年約200名の参加を得て開催しています。 日本でも高まりを見せてきた社会的事業活性化の気運を今後更なる発展に繋げていくため、第3回目の今年度は9月8日~9日 の2日間、開催します。